

# 学びの風便り

リーディングスクール通信27 R6.8.30

発行：松本市教育委員会 教育研修センター

## 特集！学びの改革のあゆみ 旭町中学校・島立小学校

### 旭町中学校 まず教師がやってみる～Canvaを使って探究ポスター～

今年からアソシエイト校として活動を進める旭町中学校では、これまで「平和学習」を軸としたカリキュラムを丁寧に作り上げてきました。このカリキュラムは、生徒が計画的に平和について学べるよう設計されていますが、生徒が自ら問いを見つけ、学びを選択し、主体的に学習していくという点では、どうしても教師主導になりがちという課題がありました。そこで、「平和学習」をより広い視点から捉え、生徒が主体的に「平和」を探究できる環境を目指し、教職員で様々な取り組みを進めてきました。その一つが、夏休みに実施した「探究」をテーマとした研修です。

チョコレートを題材にしたミニ探究では、教職員一人ひとりがチョコレートのパッケージをじっくり観察し、そこから得られた情報を丁寧に記録しました。その後、グループで情報共有を行い、共通点や相違点、味の違いなどについて話し合いました。この活動を通して、教職員は、物事への興味や関心を深め、「探究」の入り口を体験することができました。



次に、Canvaを使った研修では、教職員が自ら情報をまとめ、発信する方法を学びました。市のICT支援員のサポートを受けながら、実際に手を動かし、プレゼンテーション資料を作成しました。この経験を通して、教職員は、情報収集・整理・発信という一連の「探究」のプロセスを体験し、その楽しさや難しさを実感しました。

これらの研修を踏まえ、教職員は、夏休みに「自分の好きなこと紹介してみませんか」というテーマで、各自が興味のあることをCanvaのポスターにまとめるという課題に挑戦しました。あるラーメン屋ファンの教員は、「やめられない止まらない！私のベストチョイスはこちら」と、大好きなラーメンとチャーハンを紹介しました。さらに、後日、同僚と実際にそのラーメン店を訪れる計画も立て、探究活動は授業にとどまらず、教職員の生活面にも広がっていきました。一方、松本上土通りを紹介した教員は、高砂通りを紹介した教員の地図を見て、「地図があったほうがわかりやすいな」と自身のポスターのアップデートを行いました。このように、教職員同士で作品を見せ合い、意見交換をすることで、より良いポスターへと発展させていくという経験も得られました。



教職員は、今回の探究活動を通して「取材をしていくうちに新たな知識を得ると同時に、もっと知りたくなる。次から次へと知りたいことが増えるし、新たな疑問が湧き上がり、探究心を刺激された」や、「伝えたいことはたくさんあるけれど、1枚にまとめるのは大変。でも、それを工夫することも一つの探究かもしれない」といった感想をもちました。

これらの体験から、旭町中学校では、生徒が「探究学習」を行う上で、どのような環境が理想的かについて議論を重ねています。その結果、まとまった時間の確保、興味関心に基づいたテーマの設定、他校との連携、そして教職員からの小さな後押しの重要性などが明らかになりました。

## 島立小学校 「自ら学ぶ子ども」を目指し、先生たちみんなで授業をアップデート

### ★ スタートは「目指す子どもの姿」の問い直しから

島立小学校の学校教育目標の第1項は「自ら学ぶ子ども」。この言葉が「研究テーマ」や「重点目標」にも登場します。この「自ら学ぶ子ども」とは、どういう子どもの姿をいうのだろうか？という問い直しから、島立小学校の取組はスタートしました。そして、「自ら学ぶ」を抽象的な言葉で表現するのではなく、「〇〇の場面の～している姿」といった、具体的な子どもの姿を見つけ、語り合いたいという願いから、①自由進度学習 ②ICTの活用 を窓口に「自ら学ぶ子ども」の姿を引き出していくことにチャレンジすることにしました。こうして「自由進度学習と端末活用を手掛かりに学びのスタイルをアップデートしよう！」という合言葉が共有され、取組が始まりました。

### ★ お互いの取組に学ぶ

島立小学校の先生たちが、まず取り組んだのは、「お互いの実践から学び合う」ことです。

5月には、率先して「単元内自由進度学習」に取り組んでいる6年生の授業をみんなで参観しました。タブレットで学んだり、友とかかわったりなど、思い思いの形で主体的に学んでいる子どもたちの様子を目の当たりにしたり、授業者の先生から授業づくりの楽しさや苦勞を聞いたりし、初めて経験する学習スタイルへのイメージを深めました。



また、6月には、すべての子どもたちの学びへの参加を促す Google Meet を活用した「視覚支援」について、実践者の先生から学ぶ機会を持ちました。

先生方は実際に授業で使った資料を子ども（学習者）と授業者、双方の立場から体験し、そのよさを実感するとともに、自身の実践に向けて様々な質問・意見を活発に交流し合いました。

### ★ みんなで「自由進度学習」を創る

7月の計画休業日に一日教職員研修「学び合おう Day『やってみよう！授業づくり』」を実施しました。

初めは「インプットの学びの時間」。先進校への視察研修の報告や「単元内自由進度学習」の基礎基本について全体で学んだ後、小グループに分かれ、先行して単元内自由進度学習に取り組んでいる先生から授業づくりの工夫、子どもの学びの様子等について、具体的に学ぶ機会を持ちました。先生たちは、様々な質問をしなが、単元内自由進度学習の実践に向けて、イメージを明確にしていきました。



その後は「アウトプットの学びの時間」。先生方は時に相談し合いながら、教材研究や単元構想にじっくり向き合いました。こうして、一日の終わりには、「誰が、いつ、どの教科・単元で行う」一覧表が完成し、すべての先生方が単元内自由進度学習の実践について、具体的な見通しを持つことができました。

この計画に基づいて、2学期には「自ら学ぶ」を目指した自由進度学習の実践を計画的に進めていきます。

### ★ たゆまぬ「アップデート」を目指して

こうして、単元内自由進度学習の全校での取組をすすめてきた島立小学校ですが、「実践して終わりではない、むしろそこからが大事」と研究主任の平本先生は話されます。

「まず、実践される授業を先生たちと振り返りを行うなかで、それぞれがとらえた子どもの『自ら学ぶ』姿を語り合いたいと思います。また、お互いの『手応え』や『課題』を交流し合うことで、先生たちがお互いに学び合い、『自ら学ぶ』姿を引き出す力を高めたいと思います。さらに、互いの資料、やり方を共有して、自由進度学習に取り組みやすい体制を作ることで、みんなでアップデートして、『自ら学ぶ子ども』を目指していきたいと思います。」

この2学期、「子ども主体の学び」を目指した島立小学校のシンカが続きます。